



栃木市立大平東小学校  
学校だより 第6号  
令和7年10月8日  
校長 新村 真



日々の学校の様子や行事予定をホームページに掲載しています。ご覧ください。



【学校の教育目標】 かしこく なかよく たくましく

## 雑草という名の草はない

自然が豊かな本校は雑草の勢いもすごいです。  
校庭のトラックの中まで勢力を伸ばしてきています。  
体育の授業を行うメインの場所であるトラックの中に雑草が生い茂ることは、教育環境上よろしくないという思いから、私も少しずつですが、草取りをしています。



鎌1本での手作業です。

直射日光で照らされてカチカチに固まった地面を鎌の先で削り、根っこから取るようにしています。

NHK朝ドラ「らんまん」のモデルとなった牧野富太郎博士は、「この世に雑草という草はない」という有名な言葉を残しています。「すべての草に名があり役割がある」と。

昭和天皇も雑草という表現を嫌いました。ちゃんと名前があると。  
そこで私も調べてみました。

私が草取りをしている場所には主に2種類の草が生えています。

エノコログサとコニシキソウという名前がついています。

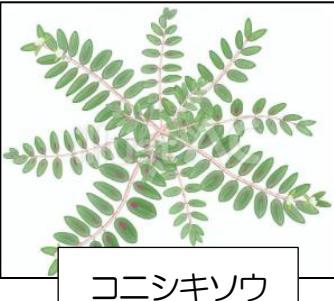
エノコログサは猫じゃらしとも呼ばれています。ひとつの穂には300～800個ほどの種子がついており、草抜きの際に種子が落ちるとそこから繁殖してしまいます。取っても取っても次から次へと生えてくるのはこのためだということが分かりました。



エノコログサ

コニシキソウは地面に張り付くように広がります。アリは、コニシキソウの種子を地中に運び、繁殖の手伝いをします。賢いです。アリ退治もしなければ、この草の繁殖をおさえることはできないということが分かりました。

私の気に入りはコニシキソウです。地べたで踏まれながら生きています。他の草と競争せず、踏まれやすい場所にこそ進出していくのだそうです。踏まれることに慣れてしまえば、こんなに敵の少ない生き方はないというのですからあっぱれです。憧れます。



コニシキソウ

かつてプロ野球選手が「雑草魂」という造語で強さを表現しました。しかし、雑草は本来弱いそうです。雑草は森の中では育ちません。学校や家の庭のような空地を好みます。

困ったことに絶対そこから逃げません。弱いのに力強く生きているのは、戦略を工夫しているからです。ただ歯を食いしばってがんばるだけで生き抜けるほど甘くないです。

ほとんどは逆境なのです。オシリーワンとして存在感を示すために、逆境をプラスに転換して自分の位置を確保しています。

これらのこととは、雑草生物学を専門とする静岡大学の稻垣栄洋（ひろひで）教授の本に書かれています。稻垣先生は雑草の生命力を描きながら、それらの生存戦略を人間社会に置き換えます。

稻垣先生は雑草を通して訴えます。

「個性」とは。「ふつう」とは。「区別」とは。「多様化」とは。「強さ」とは。「大切なものの」とは。「生きる」とは何か。現代社会が見えてくるようです。

「雑草とは何か。その美点がまだ発見されていない植物である」という言葉は、アメリカの思想家エマーソンの名言ですが、一見役に立たないように見えるものにも、必ず良いところや価値があるという前向きなメッセージでもあります。

さて、「雑草という草はない」という言葉。ドラマ「らんまん」の中では、植物のことだけに留まらず、「人」のことにも当てはめて使われていたそうです。すなわち、「人には誰にでも一人ひとりちゃんと名前があり、存在を軽んじていい人など一人もいない。」という意味で。このように見ると、学校教育や子育てに通じるものがあります。考えさせられます。



清掃の時間を利用して、除草作業に取り組む子供たち。

このような体験は大切です。勤労や協力、奉仕といった子供の人間性や社会性を育む活動だと思います。

## PTA 親子奉仕活動、ありがとうございました

10月4日（土）に、PTA 親子奉仕活動が行われました。親子で校庭の除草作業を行いました。学校だけでは対処しきれない場所もきれいになりました。親子でこのように学校や地域の奉仕作業を行うという大変意義のある貴重な機会となりました。参加してくださった皆さん、本当にありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。



親子で草取り・草運び



東山やその周辺は草刈り機で作業



植木の剪定作業



2年1組担任の小倉 咲恵 先生がご結婚されました。姓が「村崎（むらさき）」になります。村崎 咲恵 先生おめでとうございます。

◆3年生の保護者の方から書き込みがありましたので、ご紹介いたします。

「東山」今度はどんなことが書かれているのだろうと、楽しみにしています。はきものをそろえることを学校全体で指導してくださっていること、ありがとうございます。家でもその都度声をかけるようになりますが、忘れることもあります。大切なことなので習慣化されるまで粘り強くやっていこうと思います。簡単ではありますが、初めて発信してみました。

(メールアドレスの入力がなかったのでこちらで返信します)

【校長より】「学校だより」への感想ありがとうございます。お仕事や家事、子育て等でお忙しい中、読んでいただけるだけでもありがたいと思っております。このように感想などをいただけすると、励みになります。大切なこと（あいさつ・返事・はきものをそろえる）は小さいうちにしっかりと習慣化させたいと思っています。学校でも粘り強く取り組んでいきたいと思います。

私からの一方向ではなく、双方向になればよいと思っております。「学校だより」やホームページ等へのご感想・ご意見をお寄せいただけるとありがたいです。

